



こもれび新聞

2022年
12月号

連絡先：〒197-0825 東京都あきる野市雨間385-2 電話 042-550-3030 FAX 042-558-0756
発行者：社会福祉法人さくらぎ会・特別養護老人ホーム こもれびの郷・広報委員 <http://www.komorebinosato.or.jp>

外国人人材の登用

この度、福生市の日本語学校「新日本学院」と提携し、外国人学生のアルバイト研修施設として登録を行いました。

新日本学院の外国人学生さんたちは、東南アジア、中国、韓国、モンゴルなどの国々から日本語を学びにやってきました。

外国人の方々との仕事を通じた企業の付き合い方は様々な形があり、またこの度の提携は、日本語学校での学びを終え、介護の専門学校に進まれる学生さんたちへの学びの場の提供ということになりました。

アルバイト先としての場提供のメリットは以下の通りです。

- ・受け入れのメリット
- ・純粋な労働力として期待
- ・外国人の皆さんとの協働を学ぶ
- ・将来的な採用

コンビニや外食産業はもちろん、最近では一般の店舗・企業でも外国人の皆さんの協力は欠かせないものとなっております。この流れには早めの準備を上げていただきたいと思います。

新日本学院は歴史のある学校で、多摩地区を中心に名だたる医療法人社会福祉法人が提携を行っており、また数年前から相互訪問を行い、情報交換や人事交流を行って参りました。この度それが形になったという事です。

先日第一陣としての面接を行い、多数の候補者の中から、2人の女性を選抜いたしました。お二方とも十分な日本語で「日本の介護を学び、長く日本で働きたい。」と笑顔で輝かせておられました。

異国の地で生まれた若者が、遠く日本までやってきて、食べ物も文化も違う土地で新しい挑戦を始める。自分達がその年齢の時にそんなチャレンジができたのだろうか。そう考えるものすごい行動力です。

どうもこの若い行動力です。応援しようかこの若者たちの夢が日本に叶うように職員一丸となって応援します。



多くの事業所が参加

地域総合防災訓練

十一月十五日、秋川消防署、大久野病院、進藤医院、さくらぎ保育園、地元みどりの里自治会といった様々な立場の方々にご参加いただき、地域防災協定をもとにした総合防災訓練を行いました。

当日は、通報、被害状況確認、避難誘導、消火といった一連の流れで訓練を行いました。

訓練時は、藤田施設長が災害対策本部長となり、各部署からの報告や消防署への対応などを的確に進めてまいりました。

訓練の中にはスタッフが協力して実際の設備を使用した消火訓練も行ないました。これをサポートする他のスタッフも役割を果たしました。

訓練後は消防署の指導者よりお褒めの言葉もいただき、さらに貴重なアドバイスもいただきました。大変意義のある訓練となりました。今後とも日頃の訓練をしっかりと行い、万全の備えをして参ります。



消防車も導入された本格的な訓練



厨房設備の消火訓練

また終了後には、ご参加の皆様方とこの地域で災害が起こった場合の相互の援助についての意見交換も行われました。

どの様な災害が起こるかにもよりますが、同じ地域の住まう者として、手を差し伸べあうということが確認されました。



指揮を執る藤田施設長

感染症対策実施中

以下の感染症対策を行っております。

利用者の皆様の安全のため以下ご協力下さい。

- ・ご面会の制限
 - ・利用者様の外出泊停止
 - ・ボランティア活動の停止
- 皆様以外でご面会に来られる方にもお伝え下さいませ。

調理室より

管理栄養士 荒井みさき

日差しに照らされた街路樹の紅葉、夜になるとキラキラと輝く幻想的なイルミネーションで街中は冬の装いに包まれています。

私も通勤で公共機関を使用していますが、最寄りの駅もイルミネーションで彩られています。段々と寒さが厳しくなってきましたが、そんな街中の様子を見ると心が温まるような気持ちになります。

十一月は三日に文化の日、二十三日に勤労感謝の日と二日間祝日がありました。どちらの日にも季節の旬の食材を使用したお食事をお出ししました。「食欲の秋」とも言われるこの時期は旬を迎える食材も多くあります。

時期に関わらずですが、今後も利用者の皆様に食事を楽しんで頂けるよう、日々の献立作成にも力を入れていきたいと思っています。

世間ではコロナウィルス第8派、そしてこの冬はインフルエンザの同時流行が懸念されています。

二ユーも出ています。

日々寒暖差が大きく体調調整が難しい、今後も栄養ある食事を提供していきたいと思っております。



「勤労感謝の日」ちらし寿司他

令和4年度・中途採用正職員募集のお知らせ

正職員を採用しております。給与20万以上（高卒以上、資格、経験で上積みいたします。）
各種保険・年金・退職金完備。新卒以外にも、子育て中の主婦の方、転職の方々も活躍しております。
お問合せ先：電話 042-550-3030 / メール info@komorebinosato.or.jp 担当 宮林

ご利用者・ご家族・ご近所の皆様へ・・・

こもれびの郷へのご意見・ご要望等がございましたら、お気軽にお知らせ下さい。



素敵な作品・利用者有志のみなさん

十一月五日(土)から、こもれびの郷一階ロビーにおいて恒例のこもれびの郷文化祭が始まりました。今年にはコロナウィルスの関係で大きなイベントは行えず、作品展示が主たる催しとなりました。それでも会場には多くの作品が展示されました。出品された作品は利用者様や職員、その家族等が製作したもので、個人やグループ単位で出品していただきました。書道、絵画、活け花、手芸作品などジャンルも多様で、とても見ごたえのあるものとなりました。この後観覧者が投票を行い大賞や特別賞が決定し、表彰と賞品の授与が行われます。



文化祭大賞・会を彩った華道クラブによる生け花



理事長賞・金属のロボ



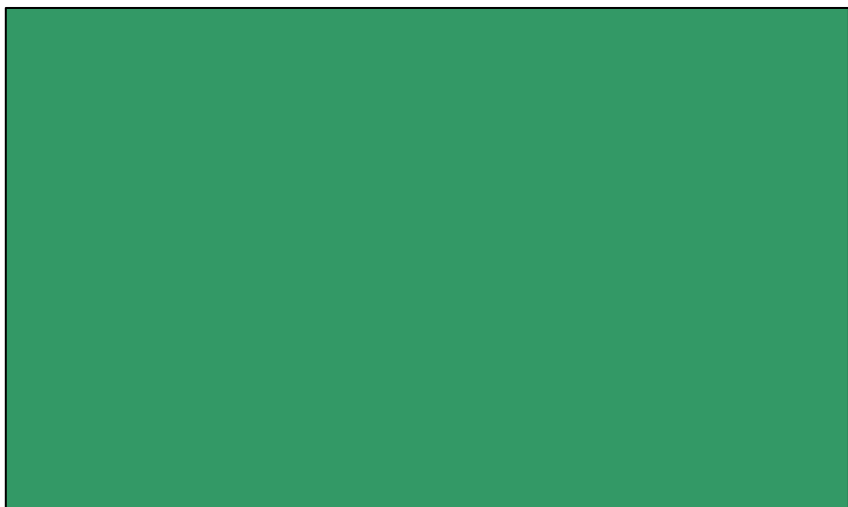
会場の雰囲気



ことしも入賞・丸山様



入賞の常連・蔭山様



特別篇・文化祭参加の書道クラブ作品

今月の芸術家



お誕生日企画で屋上へ

こもれびの郷の屋上は、天気の良い日は遠く富士山まで見渡すことができます。コロナ禍では外出もままなりません、時間を見つけて館内を散歩しております。

「屋上さんぽ」
ファイナル196
からり施設散歩の旅

俳句川柳クラブ・傑作選

城跡は 風立ち易し 一位の実(渡邊吉氏)

七五三 千歳あめ持ち 宮参り(庄司氏)

こもれびの 落葉舞い散る 年の暮れ(水村氏)

雲海が 里山守り 冬を待つ(清水氏)

冬の滝 姉妹と共に 袋田へ(石川氏)

ボランティニア通信

活動見合わせ 期間延長のお知らせ

新型コロナウイルス流行がまだ終息しておりません。利用者様の安全を守る為にも引き続き活動休止期間を延長させていただきます。

再開時期は未定ですが、決まり次第この「こもれび新聞」でお知らせしたいと思います。何卒ご理解の程お願い申し上げます。

<12月の行事>

※ 感染症予防の為、当面の間ホーム喫茶及び外部ボランティアさんの参加をお休みいたします。

- 1 木
- 2 金 理容の日
- 3 土 俳句川柳クラブ、療法士指導
- 4 日
- 5 月 手芸クラブ
- 6 火
- 7 水
- 8 木
- 9 金 理容の日
- 10 土 療法士指導
- 11 日
- 12 月 Xmasイルミネーション点灯
- 13 火 紙芝居クラブ
- 14 水 防災訓練

- 15 木
- 16 金 理容の日、華道クラブ
- 17 土 療法士指導
- 18 日 アロマクラブ
- 19 月
- 20 火
- 21 水 手芸クラブ、菓子配達
- 22 木
- 23 金 訪問美容、利用者懇談会
- 24 土 クリスマス会、療法士指導
- 25 日
- 26 月 出張喫茶・青蛾珈房
- 27 火
- 28 水 書道クラブ

- 29 木 音楽クラブ
 - 30 金
 - 31 土 療法士指導
- <1月の行事>
- 1 日 元日
 - 2 月
 - 3 火
 - 4 水
 - 5 木 クラブ活動
 - 6 金 理容の日
 - 7 土 療法士指導
 - 8 日
 - 9 月 クラブ活動
 - 10 火

